



しっかり学んだ修学旅行

～自分の目で、自分の耳で、自分の心で感じること～

10月6日（金）～7日（土）6年生が長崎市へ修学旅行に行きました。子どもたちが作った修学旅行のしおりの中には、その目的の一つとして次のような言葉が書かれていました。

「被爆の地である長崎市内を、自分の足で歩き、自分の目で見て、自分の耳で聞き、自分の心で感じることで、平和の大切さや命の尊さについて深く考える。」

子どもたちは、原爆資料館の中にある展示品や写真の前で足を止め、原爆による被害の実態や現在の核兵器の状況等を時間をかけて見ていました。午後のフィールドワークは、原爆遺構を見学しました。暑い中を1時間以上歩いている見学でしたが、最後までガイドさんの説明に耳を傾けていました。原爆落下中心地での平和集会では、響きわたる声で、平和で幸せな世界をつくることを誓い、平和への願いを込めた1年生から6年生のおり鶴を届けてくれました。又、被爆体験者の城臺（じょうだい）先生からは、原爆投下後の当時の様子やこれからの願いについてのお話を聞きました。1時間を超えるお話でしたが、城臺先生からは、「こんなにきちんと話が聞けるなんてビックリしました。」という言葉をいただきました。

子どもたちは、自分の目で見たり、聞いたりの核兵器の現実と、現在続いているロシアとウクライナとの戦争をつなげ、改めて平和の大切さを自分事として感じているようでした。



ガイドさんとのフィールドワーク（被爆クスノキ）



平和を誓う声が響く平和集会



全校の思いを込めた折鶴を届ける



城臺先生を招いての平和学習



城臺先生のお話を真剣に聞く子どもたち

校区民会議「元気っ子広場」

9月30日（土）筑後小学校校区民会議主催の「元気っ子広場」として、バレーボール教室が行われ、低学年から高学年までの17名の子どもたちが参加しました。市内で唯一筑後小でジュニアバレーを指導されている梅野さんに、レシーブやサーブの仕方を教えていただき、最後はミニゲームも行いました。最初は、緊張気味だった子どもたちも、最後は、大きな歓声を上げてバレーボールを楽しんでいました。



1年生保護者給食試食会

10月6日（金）4年ぶりに1年生保護者の給食試食会（1年生との会食）がランチルームで行われました。1年生の子どもたちは、保護者の方と一緒に給食を、いつもにも増して美味しく食べていました。とても嬉しそうでした。

PTAの研修保健委員会の皆様には、計画から、会場準備、配膳等大変お世話をおかけしました。本当にありがとうございました。

